

すくすく

# たけのこキッズ

## 第16号



川崎こどもクリニック

〒597-0102 貝塚市木積656-7

電話：0724-21-2033

http://www.kawasaki-kc.jp

平成17年8月8日発行

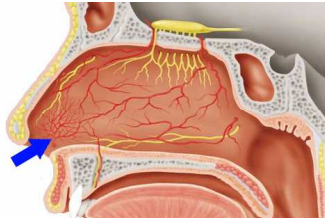
### 高熱を伴う夏かぜ 続く

学校・幼稚園が夏休みに入り若干減った感じはありますが、まだまだ患者さんの数は多い状態が続いています。一部の保育所でおたふくかぜが流行していたりということもありますが、やはり夏かぜの方が多いためです。お母さんにもうつってしまう場合もあります。これから夏の行事の多い時期です。生活が不規則になりがちですから、体調管理には注意しましょう。



### 鼻血に対する処置

子どもはよく鼻血を出します。しかし、そのほとんどは家庭で対処できるものです。小児の鼻出血ではキーゼルバツハ部位といわれる鼻中隔（左右の鼻腔を分ける板状の部分）の前の部分の粘膜からの出血が9割以上を占めます。左下図の矢印の部位がそれです。ここは鼻の入り口から1cm前後の部位であって、指が容易に届くところです。夏はのぼせたりして、またもともとアレルギー性鼻炎などを持っているとならば単にこするだけでも出血の原因となります。



出血は左右両方から同時にとすることはまずありません。両方から出たと思われる時は、血液が鼻の奥を通って反対側から出てきていることがほとんどです。

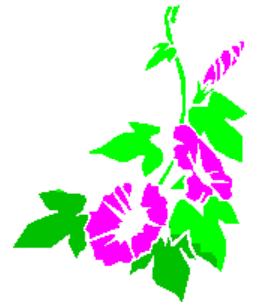
また飲み込んでしまうとムカムカして吐いてしまうこともあります。ということから「鼻血が出たら仰向けに寝かせて鼻のつけねを冷やせ。」と言われていたのは間違いです。姿勢は座位で前かがみとなり血液を飲み込まないようにするのが良く、やむなく座位がとれない場合は横向きに寝かせましょう。さて鼻血に限らずどんな出血でもそれを止める基本は出血している場所を確認してそこを圧迫することです。出血部位がわからないときはキーゼルバツハ部位から出血していると考えて、まず指で鼻翼部（小鼻）を圧迫してください。そして例えばティッシュペーパーを2cm幅程度の短冊形にちぎって、鼻腔よりやや太めになるように丸めて、出血している側の鼻腔に差し込みます。この方法でまず止まるはずですが、それでもなお止まらないときはティッシュペーパーを少し太めにしてもう一度試みてください。ただし、こういった方法でも10分以上も止血できないときは速やかに医師の診察を受けていただきたいと思います。

### 医学生の実習

4年前から大阪医科大学小児科では、夏や春の大学の休暇の時期を利用して医学生に医療の最前線を見てもらうクリニック実習を実施しています。希望する学生を大阪医科大学小児科でコーディネートして、関連の病院・開業医10余りの施設でそれぞれ数名ずつ受け入れているものです。ほとんどの医学生は大学病院の中でしか患者と接することなく卒業し、また医師となっても当初は重症の入院患者さんばかりを相手にすることになります。したがって、学生時代に最前線の外来を見学することは将来にむけての貴重な体験となります。なお、まだ医師免許等は持っていないので、当然ですが処置・注射などは見学だけです。当クリニックに関しては、今夏は8月16日、23日（いずれも火曜）に各1名来られることになっています。

### 病気の子供とエアコン

子供さんが病気の時に皆さんはエアコンをどうしていますか。昔からの言い伝えに「はしかは冷やすな」というのがあり、はしかだけでなく風邪をひいたときにはエアコンを切ってしまう方もあるようです。しかし、この言い伝えは暖房器具が不十分で隙間風も多かった時代の、しかも寒い時期の話です。今の時代にはそぐわないと考えますし、特にこの夏の暑い時期にエアコンを切ってしまうと、蒸し風呂状態というのも考え物です。適温でエアコンを使用するというのいいでしょう。では適温とはどれ位なのでしょう。保育器に入っている裸の赤ちゃん（成熟児）の場合、保育器内の温度は30～32℃です。夏場の子供は薄い服を着ていますから、快適な室温は27～28℃程度と考えられます。したがってこのあたりの気温になるようエアコンを動かしていただければよいと思われれます。最後にもう一つ。冷たい空気は床にたまりやすいため、立っているお母さんが感じている気温と布団に寝ている赤ちゃんが感じている気温とは違う可能性があることにも注意して下さい。



### 8月の休診日

前号での予告通り、盆と、その翌週の学会に休診となります。ご迷惑をおかけしますが、ご了承ください。なお、長期投薬などある方は予め受診しておいてください。

8月13日（土）～15日（月） 全日休診《盆休み》

8月19日（金）午前みの診察

（予防接種と夕診休診）《学会参加》

8月20日（土）全日休診

《学会参加》